



特集

物語から学び、考える 「ジェンダー平等」のかたち

VOL.
69

令和3年(2021年)
6月発行

- P6 おすすめ図書
- P7 港区立男女平等参画センターで活動する団体の紹介
- P8 2021年度 お知らせ
リーブラ主催講座 テーマのご紹介



物語から学び、考える 「ジェンダー平等」のかたち

倉本さん
推薦



今こそ読みたい、注目のフェミニズム作品5選

性暴力の被害を訴える「#MeToo」ムーブメントの広がりによってフェミニズムへの関心が高まるなか、さまざまな国のフェミニズム文学が邦訳出版されています。特に、近年人気を博している韓国文学について、リーブラでは2月14日（日）、主催講座『韓国フェミニズム文学に学ぶ、ジェンダー問題の「リアル」』を開催しました。ジェンダー平等について、物語を通して一緒に学び、考えてみましょう。書評家の倉本さおりさんにおすすめの作品をご紹介します。

ここ数年の日本におけるフェミニズム文学の高まりについて語る上で、韓国文学の存在は欠かせません。例えば、発行部数が22万部を超え、翻訳小説としては異例の売れ行きを見せているチョ・ナムジュの『82年生まれ、キム・ジヨン』（斎藤 真理子訳／筑摩書房／2018年）。ストーカーに追いかけられれば穿いていたスカートの丈のせいになされ、はっきり意見を言っただけなのに「怖い女」扱い——。主人公・ジヨンが韓国社会の中で遭遇する“あるある”なエピソードの連続は、日本の女性たちの心も激しく揺さぶりました。

海を隔てて隣りあう女性たちの強い共鳴。その背景には、

とりわけ日韓で今なお根強く残る家父長制の影響があります。実際、「三步下がってついていく」のが女性の美德としてまかり通ってきた社会であることは、残念ながら東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の女性理事をめぐる森喜朗前会長の発言にも表れていますよね。「女の子はおとなしくしなさい」あるいは「男の子なら泣いちゃダメ」。世代が上にいけばいくほど、これと似たようなことを言われた経験がある人は多いと思いますが、「なぜそうしなければいけないのか」について満足な説明を受けた人はいないんじゃないでしょうか？



『女の子だから、男の子だからをなくす本』

ユン・ウンジュ著／すみみ訳／イ・ヘジョン絵／ソ・ハンソル監修
エトセトラブックス／2021年

本書は、ジェンダー、すなわち社会的役割や性差にひもづいた先入観を解きほぐしてくれる絵本です。普段の生活の中で男の子にかけられる言葉を女の子に、女の子にかけられる言葉を男の子にかけてみる「ミラーリング」という手法を用いることで、それらがいかに理不尽で不必要な縛りであるかということを知りやすく教えてくれます。「女の子だから」「男の子だから」ではなく、「ステキな人になるために」必要なことは何なのか。親子で読むのはもちろん、心に刺さった棘を隠したまま成長せざるを得なかった大人たちにぜひ読んでもらいたい一冊です。



『女であるだけで』

ソル・ケー・モオ著／吉田栄人訳
国書刊行会／2020年

フェミニズムと連動した韓国文学の活況は、それまで英語圏に偏りがちだった日本の翻訳出版事情にすくなく影響を与えました。例えば中南米、それも「マヤ語」のフェミニズム小説として刊行され、熱く注目されているのがソル・ケー・モオ『女であるだけで』。著者はメキシコ生まれで、初の「マヤ語」先住民女性作家として世界的な脚光を浴びている存在です。「あなたたちの罪は、あたしたちの存在をずっと忘れていたことなんだ」——マヤ先住民女性の手による「夫殺し」の顛末を描いた本作は、先住民が置かれている陰惨な状況から、ごく普遍的な社会病理を緻密にあぶりだす傑作といえるでしょう。



『アメリカン・スパイ』

ローレン・ウィルキンソン著／田畑あや子訳
早川書房／2021年

人種差別とジェンダーギャップと国家政策の闇が絡みあう様相を、スリリングなエンターテインメント小説に昇華したのがローレン・ウィルキンソンの『アメリカン・スパイ』。主人公・マリーはFBIの捜査官として働いているものの、黒人女性であるがゆえに能力を発揮する機会を与えてもらえない。そんな折、「アフリカのチェ・ゲバラ」なる人物にハニートラップを仕掛ける役目を言い渡される——。買われたのが自身の才能ではないと悟りながら任務を引き受けるマリーの心情は、のちに物語の大きなうねりとなって読者をパワフルに牽引していきます。



『かわいいウルフ』

小澤みゆき編
亜紀書房／2021年

近年の日本においてフェミニズムがここまで広がりを見せた要因のひとつに、SNSの浸透が挙げられるでしょう。アカデミックな権威に基づいた——いかなれば上から目線の牽引ではなく、人びとがそれぞれに声をあげることで生まれる連帯。まさにそうした熱の豊かさを伝える本が、小澤みゆき編『かわいいウルフ』です。実はこれ、元は同人誌として生まれた企画。フェミニズム文学の批評において欠かせない存在である作家ヴァージニア・ウルフを、教科書的な解釈ではなく、ごく主観的な言葉で解体していく点が特徴で、いかなれば「ヴァージニア・ウルフのファンブック」！その愉しさは、一人ひとりが自分の「好き」を奪われずに済む未来とつながっているのでしょう。



『星月夜』

李琴峰著
集英社／2020年

複雑なアイデンティティを抱えた人びとの物語は、なにも翻訳作品に限ったことではありません。彼女たちが見ている風景は、実際日本にも確かに存在しているのです。李琴峰『星月夜』は、自由を求めて故郷を離れ日本にやってきた二人の女性が、互いに恋に落ちるところから幕をあげる物語。片や、台湾出身の日本語教師。片や、新疆ウイグル自治区出身の留学生。同性愛者という共通項があっても、両者は日本語の習熟度も、背負っている文化的背景も違うため、遭遇する困難はひとつとして同じではない。ところが当たり前のように日本で生まれ育ち、当たり前のように異性愛者として生きていくと、彼女たちの差異を平然と塗りつぶしていることに気づきもしない——。ウイグル人差別をめぐる問題に果敢に切り込んでいる点を含め、この作家の作品はいずれも「なかったことにされている景色」を繊細かつ鮮やかに描き出すものばかり。ドメスティックな日本の純文学に風穴を開けてくれる稀有な書き手です。

執筆者プロフィール



くらもと
倉本 さおり

書評家。共同通信文芸時評「デザインする文学」、文藝「はばたけ！くらもと偏愛編集室」、週刊新潮「ベストセラー街道をゆく！」連載中。他、小説トリッパー、ダ・ヴィンチなど。『文学界』新人小説月評(2018)、毎日新聞文芸時評「私のおすすめ」(2019)。TBSラジオ「文化系トークラジオLife」スーパーソナリティ。共著に『世界の8大文学賞 受賞作から読み解く現代小説の今』(立東舎)がある。

物語から学び、考える 「ジェンダー平等」のかたち

枇谷さん
推薦



北欧生まれの女性文学、フェミニズム文学

「ジェンダーギャップ指数」ランキング(世界経済フォーラム)の上位に毎年ランクインしている北欧諸国(2021年はアイスランド1位、フィンランド2位、ノルウェー3位ほか。ちなみに日本は120位)発のフェミニズム文学や女性文学の邦訳出版が今年に入って続いています。デンマーク語、ノルウェー語、スウェーデン語翻訳者である枇谷玲子さんに注目の作品をご紹介します。



『花の子ども』

オイズル・アーヴァ・オウラヴストッティル著
神崎朗子訳／早川書房／2021年

アイスランドで女性文学賞を受賞。母を亡くしたばかりの22歳の青年、ロツビは、友だちの友だちであるアンナと一夜の関係を持ったことで、子どもができてしまう。ロツビは高校での成績が優秀で、父親から大学進学を期待されているが、母親から習った園芸の道を志していた。子どもができ困惑したロツビは、異国の修道院のバラ園を目指し、旅に出る。道中、人生や運命、死と生など、哲学的な思索を巡らせる。アイスランドでは、子どもをもうけたカップルが結婚しないことはそう珍しくないとロツビは言う。旅から戻った彼はアンナとの約束通り、赤ん坊の面倒を一緒に見はじめる。

子どもができ役割から逃げる男の話かと思っていた私は、父親としての役割を担うことで訪れる日々を新鮮と捉える主人公の青年の視点に驚かされるとともに、いかに自分がジェンダーの固定観念に縛られていたか気付かされた。そして40日間、ともに子育てをしたアンナが下した結論もまた私の固定観念を覆すものだった。

ロツビとアンナの会話をしていると、北欧の人とした会話がいくつも蘇ってきた。離婚をした後も互いに家をしょっちゅう行き来する元夫婦や、結婚前に同棲するカップル、学校の先生も結婚せずに子どもをもうけている、自分もそうしたいと話す若者の話を聞いて驚く私に、彼らは不思議そうに尋ねるのだった。「どうして日本ではダメなの?」と。理由は説明できなかった。それまでただ受け入れるばかりで、なぜと聞き返したことがなかったから。



『メッセージ トーベ・ヤンソン自選短篇集』

トーベ・ヤンソン著／久山葉子訳
フィルムアート社／2021年

『ムーミン』シリーズがあまりにも有名なトーベ・ヤンソンの自選短編集。ヤンソンは母語がスウェーデン語のフィンランド人作家だ。短編集には様々なテーマの31篇が収められている。『サミュエルとの対話』では、画家になるために執拗に努力を続けるが、一向に芽が出ないサミュエルという男性が、絵を描くことは、自分の本質に反しているのだとふいに悟る姿が描かれる。本書の収録作は、全体的に芸術家や作家、職人など、ものを生み出す人々の創作への向き合い方、生き方、野心と夢と現実をテーマにした作品が多い。

久山葉子さんが翻訳したトーベの言葉は音楽のように美しく心地よく、作家としてのトーベの知られざる一面をあぶり出している。





『北欧式パートナーシップのすすめ 愛すること愛されること』

ビョルク・マテラスダッテル著／椛谷玲子訳
原書房／2021年

熟練のカップル・セラピストである著者による夫婦生活／カップル・カウンセリングを1冊にまとめた本書は、実用書でありながら、様々な文学作品が例として登場する。たとえば『第3章 愛を理解する』では、イブセンの戯曲『人形の家』が1879年に初上演され、女性が男性に離婚を突きつけるというノラ
の選択が女性たちを開眼させ、女性運動と投票権を求める闘いに影響を及ぼしたこと、さらにヨーロッパの国々だけでなく中国でもセンセーションを巻き起こし、中国でフェミニズムが『ノライズム』と呼ばれるようになったことなどが綴られている。ほかにも日本初紹介の小説や詩の一部が邦訳されていて、ノルウェー文学案内としても楽しめる1冊だ。

29位だったことに驚き、男女平等について ますます活発に議論するデンマーク

最後に、私が留学していたデンマークの男女平等社会に向けた現状について紹介する。デンマークは「ジェンダーギャップ指数」ランキングで29位だった。2019年14位になった時点からランキングの結果は、自分たちの国を「自由と平等の国」と捉えていたデンマーク人を驚愕させ、強い危機感を抱かせた。以降、ジェンダー平等の問題が盛んに報道されるようになった。同年12月、男女平等大臣モーエンス・イェンセンが、ほかの北欧諸国にこれ以上後れを取らないよう、男女平等へのより革新的な取り組みを行うと宣言した。一方で、デンマークは男女平等後進国
のではなく、男女平等への進歩がほかの上位国に比べゆっくりだからではないかという見方をする新聞記事も多い。

男女平等が実現されるまでにあと99.5年かかるという、世界経済フォーラムの予測はデンマークでも大きく報じられた。男女平等は過去の課題でなく、これからも不断の努力が必要なものとし、高校の国語教科書の文豪リストに選定されている作家14人のうち、女性作家がカーレン・ブリクセン(イサク・ディネセン)1人だけであることなど、いまだに残る性差別についてますます活発に議論が行われているようだ。



『21世紀の恋愛 いちばん赤い薔薇が咲く』

リーヴ・ストロームクヴィスト著／よこのなな訳
花伝社／2021年

スウェーデンは2015年、性別に中立的な代名詞henが辞書に収録され、世界中を驚かせた。本書は、そんなスウェーデンで社会現象になったフェミニズム・コミック『禁断の果実 女性の身体と性のタブー』の著者リーヴ・ストロームクヴィストの新作。現代人は恋愛感情を抱きにくくなっていると主張する社会学者や哲学者が増えているが、その謎に迫るのがこの本の大きなテーマの1つだ。

女性から愛の告白をすること、恋愛感情をあらわにすること
にためらいを覚えるのはなぜか、男性より女性の方が結婚や子を持つことを焦りがちなのはなぜか、結婚と性愛、男らしさ、女らしさの歴史の変遷、思想家らの議論をひもとくことで、1978年生まれの著者が現時点で出した答えを示している。北欧の恋愛や性愛に関する議論でよく引用される社会学者エヴァ・ルイズの感情資本主義という概念について知ることができるのも貴重な。

執筆者プロフィール

ひだに れいこ
椛谷 玲子



北欧語翻訳者。スウェーデンの『北欧に学ぶ小さなフェミニストの本』(サッサ・ブルーグリーン著／岩崎書店／2018年)、ノルウェーの『ウーマン・イン・バトル:自由・平等・シスターフッド!』(マルタ・ブレン著、イエニー・ヨルダル絵／合同出版／2019年)、デンマークの『北欧に学ぶ 好きな人ができたら、どうする?』(アンネッテ・ヘアツォーク著／カトリーネ・クランテ、ラスムス・ブラインホイ絵／晶文社／2019年)『好きな人に触れたいのは、どうして? 北欧に学ぶ恋愛とセックスの本』(サビーネ・レミシ著、ラスムス・ブラインホイ絵／晶文社／2020年)をはじめジェンダー、フェミニズム関連の本を多く訳している。

おすすめ図書



港区立男女平等参画センター(愛称:リーブラ)の図書資料室では、
男女平等参画・ジェンダー関連の図書資料(絵本・図書・ビデオ・DVDなど)を幅広く収集しています。
今回は、図書資料室の数ある蔵書のなかから、おすすめの作品をピックアップしました。
新たな学びと豊かな文化に出合うために、リーブラの図書資料室をぜひご活用ください。



彼女の名前は

著:チョ・ナムジュ
訳:小山内園子 すんみ
筑摩書房/2020年

「ベストセラーになった韓国の小説『82年生まれ、キム・ジョン』(筑摩書房)の著者が、前作からさらに前へ進むために、自ら声を上げる女性たちを描いた短編小説集。不平等な性別役割分担意識に苦悩する家庭生活、不安定身分での低賃金労働、女子学生の「生理の貧困」など、現代の日本社会でも実際に起こっているような問題を背景に、さまざまな年代や立場の女性たちが登場します。

本書のために、著者は9歳から69歳まで幅広い年代の女性60人余りに取材を実施。作中には日常のあらゆる場面における「女性」への抑圧や差別と、それらに耐え、抗う人々の姿が、ときに繊細にときに力強く描かれています。彼女らが声をあげる理由は「次の人」を同じ目に遭わせないため。娘、姉妹、友人、後輩など身近な女性を、そして次世代の女性を守るために立ち上がる姿は、読む者の心を奮い立たせます。



ようこそ!あかちゃん せかいじゅうの家族の はじまりのおはなし

著:レイチェル・グリーナー
絵:クレア・オーウェン
訳・解説:浦野匡子 良香織
大月書店/2021年

「あかちゃんはどこからやってくるの?」と子どもに聞かれたとき、あなたは何と答えますか?5~7歳以上の子どもの向けに作られた本書は、妊娠から出産までのプロセス、身体の仕組み、さまざまな家族の在り方について、科学的説明と人権・多様性をふまえた表現でまっすぐに描いています。性交(セックス)、人工授精、帝王切開、早産など、妊娠と出産に関する大切な知識がイラストとともに丁寧に説明されており、大人も子どもも楽しみながら学びを深めることができます。あかちゃんはキスをすればできる、コウノトリが運んできてくれるなど、つついごまかしてしまいがちな妊娠・出産の話題。本書を通して、性と生、そして人権についてあらためて考えてみませんか。



完璧じゃない、 あたしたち

著:王谷晶
ポプラ社/2018年

友情や恋愛、憧れ、腐れ縁、顔見知り、はたまた名前を付けることさえ難しい関係性まで、女と女の物語23編を収録。一編ごとに登場人物や設定が異なる本書は、ミステリからSF、ホラー、ラブストーリーまでさまざまなジャンルで描かれています。一人称に悩み続ける30歳、セックスがしたいのにできないレズビアンカップル、近所のゴミ屋敷に住む女性に興味津々な実家暮らしの会社員、体毛処理をやめた引きこもりなど、社会の「普通」の枠組みにおさまらざる登場人物たち。自由で奔放で愚直な彼女らの生きざまは、読者を励まし、勇気を与えてくれます。

社会生活を送るうえで「女性」に押し付けられがちな性的役割分担意識やジェンダーステレオタイプ。なぜ「完璧」を求められ、「完璧」であろうとしてしまうのか。本書を読み終えるころには、そんな固定概念から抜け出し、心が軽くなっているかもしれません。

リーブラ 阿部綾奈

☆ 港区立男女平等参画センターで活動する団体の紹介 ☆



リーブラで男女が平等に参画できる社会の実現を目指し、具体的な活動を行っている「男女平等推進団体」「男女平等学習団体」のみなさんをご紹介します。



男女平等推進団体

シャイン ウーマン シャイン ヒューマン プロジェクト 代表
「SHINE WOMAN SHINE HUMAN PROJECT」 国枝 タカ子さん

人生 100 年時代、生涯にわたり女性が輝き続けることのできる社会の実現を目指し、2019 年に SHINE WOMAN SHINE HUMAN PROJECT を設立しました。身近なテーマを入口に、互いの知識、経験を共有し、様々な文化を体験しながら、男女が平等に参画できる社会実現への貢献を目的に、団体活動を行っています。

男女平等参画推進活動とひと口に言っても、当初メンバーの多くは、それが具体的にどのような活動なのかピンと来ていませんでした。そこで、リーブラで最初に企画したのが自分史づくりです。自分と家族の歴史を振り返ることで、女性がどのように社会と関わってきたのかが時代の変遷とともに浮かび上がってきます。この体験を通して、一人ひとりが男女平等参画を、自分自身の問題としてとらえることができるようになりました。

リーブラにおいては、ほぼ毎月、活動を行っています。好評だったのは、メガバンクのロンドン支店で、女性初の総合職としてディーリング業務に携わったメンバーによる講義「ロンドンでの仕事と暮らし」です。イギリスの家庭料理教室を同時開催し、美味しいビーフシチューを味わいながら、ウイットに富んだお話を楽しみました。また、私が日本オリンピックアカデミー (JOA) オリンピック憲章委員長を務めた経験をお話した「オリンピックと女性の活躍の歴史」では、ヨーロッパの貴族のダンスを体験していただき、お話に登場する当時の時代背景を肌で感じていただけるよう努めるなど、心に響く、彩りある企画をいつも心がけています。



ほぼ毎月一回、学習室で定例活動を行っている

私とリーブラとの関わりは、2004 年に OASIS の編集委員 (~2014 年) に参加したことがきっかけです。港区には 27 歳の時から住んでおり、町内会の活動で、小学生に能にふれてもらう教育プログラムを企画するなどの社会活動に取り組んできました。みなと区民まつりでは、私が代表を務める「世界舞踊祭」プロジェクトのメンバーが、ダンスを披露するなど、様々な形で文化活動にも参加させていただいています。リーブラでの活動においても、多様な文化を知り、互いの理解を深めるうえで、音楽やダンスといった、言葉を超えたコミュニケーションは有効だと考えています。SHINE WOMAN SHINE HUMAN PROJECT でも、学習室で合唱レッスンを行うほかに、リーブラホールで過去に 2 度のコンサートを行いました。国籍や性別、年齢などの枠を超えて、皆がひとつにまとまる体験の共有こそ、男女平等参画の大きな推進力になるのではないのでしょうか。



リーブラホールでのクリスマスコンサート

コロナ禍で、心安まらない日々が続きます。それでも、席数を限定し、万全な対策の上で春の歌を合唱したり、桜と春の花を楽しむフラワーアレンジメント教室を開いたり、ピアノのプロ演奏者でもあるメンバーに「Over the Rainbow」等明るい気持ちになれる音楽を演奏していただいたりと、共に過ごすひとときに、皆の心の曇りが少しでも晴れるようなプログラムを考え、実践しています。

これからも形式にとらわれることなく、いくつになっても瑞々しい気持ちで、皆と一緒に活動を続けてまいりたいと思います。

(聞き手・文 オアシス協力員 野崎稚恵)

2021年度 お知らせ / リーブラ主催講座 テーマのご紹介

港区立男女平等参画センター(愛称:リーブラ)は、「全ての人々が性別等にとらわれず、自分らしく豊かに生きることができる社会」の実現に向けて、さまざまな切り口で講座を開催しています。

仕事と家庭の両立支援

- 家庭とジェンダー
(性的役割分担意識の解消)
- 仕事と介護

企業の取組支援

- ワーク・ライフ・バランス シンポジウム
- 職場のハラスメント予防と解決

地域活動・交流支援

- #港区でつながりたい
区民のためのコワーキングスペース **NEW**
- 地域参画支援 -ひきこもりの理解と支援-

女性のエンパワーメント

- 女性の起業支援
- 女性の再就職支援
- 女性管理職養成講座
- 国際女性デー

性と健康

- 親子で学ぶ月経・生理
- リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

ジェンダー視点で知る・学ぶ・問い直す

- 文化とジェンダー
(文学、テレビ、アニメ、シアターリーブラ)
- ジェンダー視点で学ぶ日本史入門講座 **NEW**
- 女性の視点を持った防災

家庭と子育て

- 幼少期教育とジェンダー平等
- ひとり親支援
- 若いとジェンダー **NEW**
- 絵本の森
- みんなであそぼう!

その他

- 男性学
- アンコンシャス・バイアス **NEW**
- 性暴力加害者臨床 **NEW**

ダイバーシティ&インクルージョン

- 職場のダイバーシティ
- ダイバーシティ推進講座(人権の尊重)

#港区でつながりたい 区民のためのコワーキングスペース

趣味や仕事、勉強などに利用できるコワーキングスペースとして、リーブラの学習室(料理室・造形室・多目的室含む)を一般開放します。黙々と集中して勉強や調べものなど作業ができる「もくもくルーム」、料理や裁縫・編み物・折り紙などが楽しめる「クッキングORホビールーム」、ヨガや体操・ベビーマッサージなどに使える鏡張りフローリングの「ストレッチスタジオ」など使い方がいろいろ。また、連続5回のデジタル講座(学習室&

Zoomのハイブリッド開催)も開催します。来館して学習室Aで受講、または、お好きな場所からオンラインでの受講も可能です。こちらの講座は、毎回うれしいセルフケア付き!講座のあとは、デジタルとうまく付き合うために、マインドフルネス・ストレッチ・チェアヨガ等しっかりセルフケアをしていきます。さらに当日は、コンシェルジュが丁寧にご案内します。ぜひ、港区の人と人が集うネットワークづくりの場として、安心・安全・清

潔なリーブラの施設をご活用ください!実施日など詳細が決定次第、公式HPやSNS等でお知らせいたします。
※講座内容を変更する場合があります。

#港区でつながりたい みなつな



港区立男女平等参画センター リーブラ

〒105-0023 港区芝浦1-16-1 みなとパーク芝浦
Tel:03-3456-4149 Fax:03-3456-1254
▶ <https://www.minatolibra.jp/>



アクセス

- JR「田町駅」東口(芝浦口)徒歩5分
- 都営地下鉄浅草線「三田駅」A7出口 三田線「三田駅」A9出口 徒歩7分
- ちいばす ◆芝ルート・芝浦港南ルート(品川駅港南口行)「みなとパーク芝浦」
◆芝浦港南ルート(田町駅東口行)「芝浦一丁目」徒歩4分
- 都営バス(田92・99)「田町駅東口」徒歩6分



港区男女平等参画情報誌「OASIS オアシス」69号 2021年6月発行
発行:港区立男女平等参画センター指定管理者 株式会社明日葉